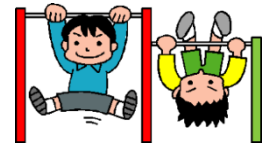


# 川柳

## 〈小学1年生・2年生〉



特選 てつぼうはできるよわたしまわれるよ

城東小学校1年 将亦 莉星

(評)

なんどもれんしゆうして、てつぼうができるようになりました。そのうれしいきもちが、「わたしまわれるよ」でよく現れています。くりりとまわって見せてくれるようすが、目にうかが、とてもいい句になりました。

(彦根文芸協会 今井 和子)

特選 きれいだなはつぱのいろがかわったよ

城陽小学校1年 木村 実有那

(評)

みどりの春から夏がすぎ、秋になるとだんだんはつぱのいろが赤や黄いろになってきました。このいろが変ってきたように、気がついて「きれいだな」と秋のけしきのまん中にあるあなたがよく現われていますね。

(彦根文芸協会 今井 和子)

準特選 はるのひにちょうといっしょによーいどん

城西小学校2年 青山 ゆづ希

(評)

長い冬のトンネルをぬけて、花やちょうといっしょにはじめていく気持を、「よーいどん」にこめた表現がすてきでした。春ののどかさを花やちょうにたくしている、作者の思が伝わってくるよい句でした。

(彦根文芸協会 知野見 松子)

準特選 あつしにはわたしのおひざちようどい

亀山小学校1年 田中 美結

(評)

小さな弟をお守りしている、ちよつとおしやまな女の子のやさしさを感じました。いつまでも、その感性とやさしさを失わないでね。

(彦根文芸協会 知野見 松子)

準特選 けいさつかんぼくもなりたいがんばるよ

高宮小学校2年 榎木 悠人

(評)

かっこいい制服姿の警察官にあこがれる少年のすなおな気持と、がんばるという明日へのきぼうが感じられる力強い句にひかれました。

(彦根文芸協会 知野見 松子)

準特選 たこ上げはぼくの思いで空にうく

佐和山小学校2年 山本 めい

(評)

寒風の中でたこあげをしている作者、けんめいに糸をあやつっている、先にはとても不安定なたこ。いっしょうけんめいにしゅうちゅうしているようすがうまく表現されているよい句でした。

(彦根文芸協会 知野見 松子)

準特選 おとうさんおこるとこわいでもすきだ

高宮小学校2年 平井 啓太

(評)

きつとすてきなお父さんなんだよね。あぶないこと、してはいけないこと、きちんと伝えられるお父さんはまさに大黒柱、そういうお父さんをだいたすきだという気持を大切に。

(彦根文芸協会 知野見 松子)

佳作 六年生そつぎようしてもまたきてね

城西小学校2年 堀江 優那

佳作 もみじの木赤いようふくきれいだね

佐和山小学校2年 畑野 蒼衣

佳作 学校はいつもえがおがいっぱいだ

城東小学校1年 清水 彩音

佳作 ぼくのいぬ人がすきすぎてあばれるよ

城西小学校2年 今居 秋羽

佳作 にこにこでこころのノートひらきます

亀山小学校2年 森田 咲良

佳作 ともだちとかげさんしょうぶかちたいな

城西小学校2年 守川 瑞希

佳作 はっぴようはきくときくほどつかれるな

城西小学校2年 北川 翼

佳作 じょう東はびわこマラソンがんばるぞ

城東小学校2年 佃 直樹

佳作 しのあんしょうおぼえるたびにおもしろい

城東小学校1年 東光 大和

佳作 九九ならいかおみるたびに九九出され

亀山小学校2年 山本 翔

入選 しょうひぜいどんどん高くなってるよ

鳥居本小学校2年 大城 奏琉

入選 おとうとはかおがもちもちいいな

佐和山小学校2年 矢田 雅

入選 おふとんは家ぞくみんなのあそび場だ

城南小学校2年 山口 桜都

入選 いもうととままごとやるとつかれたよ

城西小学校2年 西川 奈穂

入選 しゅくだいいつも山もりたいへんだ

佐和山小学校2年 宮本 航志

入選 はれた日にうみをみてるよおじいちゃん

城東小学校1年 森 このか

入選 おちばがねかぜにゆられてあそんだよ

城陽小学校1年 森野 芽依

入選 マラソンははしるところけてぬかされる

城西小学校2年 林 実夢

入選 魚さん冬でもさむくないのかな

金城小学校2年 村上 夕介

入選 おしやべりをもみじゆらゆらたのしそう

金城小学校2年 川原 結衣

入選 おてつだいぼくもできるよくつそろえ

城東小学校1年 脇坂 草介

入選 おてつだいぼくできるんだおふろいれ

城東小学校1年 北村 亮介

入選 赤とんぼ空に広がりのしそう

佐和山小学校2年 増田 結

入選 どんぐりでいろんなものをつくらうよ

城東小学校2年 山田 瑚雪

入選 生きものはいじわるしたらしんじやうよ

城西小学校2年 松本 寛汰

入選 どんぐりがころんとおちてかわいいな

城東小学校2年 藤野 玲華

入選 れいぞうこさむいねさむいれいぞうこ

城東小学校1年 ベルナベ ナオミ

入選 きんようびあしたはやすみにしよう

城東小学校2年 高宮 光樹

入選 とんねるはいつもくらくてこわそうだ

城西小学校2年 成宮 結太

入選 黒ばんをふいていたら絵が出たよ

鳥居本小学校2年 利根川 恋々

入選 ひみつきちばしよはぜったいないしよだね

城西小学校1年 高木 健伍

入選 にちようびけしきをみながらおべんとう

城西小学校1年 西田 千夏

入選 つくえぶききれいにするよぴかぴかに

城東小学校1年 川村 優奈

入選 カブトムシのがはえててかつこい

鳥居本小学校1年 土田 瑚々菜

入選 かなとくんいつもやさしいありがとう

城西小学校2年 榛葉 悠斗



## 〈小学3年生・4年生〉

特選 おにごっこおにつかまり楽しいな

城北小学校3年 上原 晃貴

(評)

おにつかまって楽しいという感覚がおもしろいです。けいけんしたそのままを書いたのだからけれど、つかまえて楽しいという人はそう多くはないと思います。ほんとうにおにごっこが好きなんだろうな。笑い声が聞こえて来るようです。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

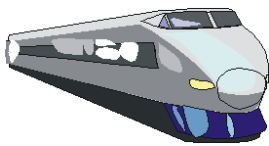
特選 米原駅ドクターイエローつうかする

城東小学校3年 市村 孝仁

(評)

米原駅にいたときドクターイエローが通過した。それだけが書かれているのだけれど、すごいすごい、やったやったの気持ちがいゆうぶん分かります。新幹線点検用の七両編成の電車はあつという間です。写真は撮れたかな。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)



準特選 夜の空きれいな星が空にある

城東小学校3年 北川 凜菜

(評)

おとなはこんな「そら」が二回出てくる句を作れませんか。なにかきみような絵を見ているような感じで読んでいます。きれいな星がいてくれるうれしい空と、遠くて手の届かないさびしい空をどうじに味わっています。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 カキーンと昨日の試合でヒットでた

城北小学校4年 小山 叶翔

(評)

かいしんの当たりとその手ごたえ。わすれられないですね。もう一度あんなヒットを打ちたいという一心で今日もまた練習です。素振りです。そして明日は、みんながびつくりするようなスゴイ三振をするのですよ。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 木はぐんとわたしのたかさこしてゆく

金城小学校4年 宮川 あかり

(評)

わたしの背も伸びているはずだけれど、いつの間に、木はあんなに高くなったでしょう。庭かどこかにうえて、水もやったことのある木でしょうか。「ぐんと」がそのおどろきやちよつとしたこわさをうまくあらわしていると思います。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 雨がふる明日はきつと晴れないな

鳥居本小学校 4年 居川 陽音

(評)

夜の雨ですね。このまま明日も晴れないと思う。とぼけた感じが面白いです。「晴れないな」だからどうなのでしょう。寝坊しようとか、本をよもうとかでしようか。でも晴れるんだよね。川柳をするひとはそんな朝も、ありやりと頭をかいて、朝寝坊。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

佳作 おかえりといつも変わらぬ祖父の声

城東小学校 4年 山田 楓勇紀

佳作 クスノキはただ一本の大きな木

城西小学校 4年 大谷 創志

佳作 四つの輪え顔いっぱいおどります

城西小学校 4年 前川 瑚香菜

佳作 秋晴れのコスモスゆれる午後ですよ

城西小学校 4年 水谷 聖

佳作 音楽会じょう熱大陸ノリノリだ

城西小学校 4年 杉本 迅

佳作 学校こけてこけても立ち上がる

鳥居本小学校 4年 居川 侑右

佳作 来年は組体そうだ出来るかな

城西小学校 4年 吉居 咲結

佳作 お月さんねむたくないねなぜだろう

若葉小学校 3年 福田 菜々子

佳作 大変だ漢字多いぞ四年生

城西小学校 4年 中井 翔太

佳作 月見台きれいな景色見えますよ

城西小学校 4年 西川 海友

入選 ブランコでゆらゆらゆれて風フワリ

稲枝東小学校4年 赤田 遥香

入選 山道でいろんな声をひろったよ

城陽小学校4年 三好 香穂

入選 おいしいな自分で作るたまご焼き

河瀬小学校4年 所 晴生

入選 しやちほこは天守の上についている

城西小学校4年 高尾 秀穂

入選 すず虫のリズムにのっておどりだす

城西小学校3年 中谷 篤司

入選 いろいろな風景見つけにどこまでも

城北小学校4年 山崎 由稀奈

入選 図書館毎日行って本を読む

稲枝東小学校4年 勝城 芽泉

入選 ことしもねりんごをおくよひよどりに

若葉小学校3年 洞田 珠宙

入選 下校中あしたのことを考える

稲枝東小学校4年 明石 怜子

入選 ぼくたちは勉強して生きていく

城西小学校3年 尾関 和大

入選 このあいだインコがにげて雪がふる

城東小学校4年 宮永 燎

入選 おやさいをもりもり食べれば元気出る

城西小学校3年 飯塚 莉子

入選 さつまいもうんとこしよつと重たいな

城西小学校3年 村田 侑磨

入選 たん生日お肉のあとはチョコケーキ

若葉小学校4年 田村 優衣

入選 しつかりと勉強したらうでがなる

城北小学校 4年 井崎 大耀

入選 おおさかに会いたい人がまっている

城東小学校 3年 小林 ゆめ

入選 二百回ぞうきんがけをなしとげた

稲枝東小学校 4年 生駒 朋那

入選 ゴミひろいたくさんあるとつかれるね

城西小学校 3年 村田 脩斗

入選 ラッキー今日の給食はチキンだよ

稲枝東小学校 4年 森野 天音

入選 ゲームをねしようとしたら電池ぎれ

城東小学校 3年 木島 晃樹

入選 パソコンでゲームしすぎて目がえらい

鳥居本小学校 4年 原 有彌

入選 大なわでさいこうきろくめざすんだ

城北小学校 4年 西村 理久

入選 さんかんびしずかなクラスいわかんだ

若葉小学校 3年 澤 咲愛

入選 母さんはいつもビシビシおこってる

城北小学校 4年 伊藤 珀

入選 こがらしが追いかけてくる城の街

城西小学校 3年 小川 朋子





## 〈小学5年生・6年生〉

特選 文化財守っていこうぼくたちが

城西小学校5年 西村 涼子

(評)

私達の町、彦根は城下町ですから、昔からの価値ある文化財が、大切に守られています。それを将来あるあなた達が引き継いで大切に保存されれば、きっと彦根城も喜ぶでしょう。

(彦根文芸協会 加藤 佑子)

特選 名前には大切な思いつまってる

若葉小学校6年 塩田 芽生

(評)

子供が生まれた時、お父さん、お母さんの喜びようが目には浮かびます。そして日本一、いや世界一のよい名前をあれこれ考えて、つけていただいた名前です。大切にしましょう。

(彦根文芸協会 加藤 佑子)



準特選 オニバスを百年後まで残したい

若葉小学校6年 山田 美月

(評)

彦根城の北側に群生している、美しいオニバスの花は、見る人をうっとりさせます。その美しい花が百年後も枯れずに、咲いていて欲しいです。私も同感です。

(彦根文芸協会 加藤 佑子)

準特選 善利組の足軽屋敷歴史あり

城西小学校5年 武富 真優

(評)

彦根市の中心に広がる所、今も残る足軽屋敷の狭い通りを歩く時、ついなつかしささえ覚えます。今は車会社になり、そこは時間が止った様に静かですが、歴史の証人です。大切にしたいですね。

(彦根文芸協会 加藤 佑子)

準特選 しんが折れ集中力もまた切れる

城東小学校6年 大久保 真紘

(評)

シャープペンの芯が折れて、がっかりしたのでしょうか。丁度よい機会です。ひと休みしてはどうですか。切れた集中力も、またファイトがわいてくるでしょう。

(彦根文芸協会 加藤 佑子)

準特選 満月が走る車についてくる

城北小学校5年 宮本 萌生

(評) 動いているのは車の方ですが、反対に月が動いてついてくる様に見えます。だまし絵みたいでおもしろいです。

(彦根文芸協会 加藤 佑子)

準特選 学校は今年で百二十五才すごいんだ

稲枝東小学校5年 室井 宏太

(評) 歴史ある学校ですね。お父さんも、おじいさんも、そのまた上のご先祖さんも学ばれた学校ってすごいですね。大切にして下さい。

(彦根文芸協会 加藤 佑子)

佳作 山の色黄色から赤に変わったよ

若葉小学校6年 鵜野 結羽

佳作 おいしくてほっぺたおちる彦根なし

若葉小学校6年 池田 直哉

佳作 家の中外までひびく笑い声

鳥居本小学校5年 矢吹 碧梅

佳作 本読んでいろいろ知ったうれしいな

城東小学校5年 入江 華

佳作 さつまいもホカホカしてておいしいな

若葉小学校6年 松下 瑠海

佳作 マラソンはつかれるけれどがんばるぞ

平田小学校6年 柴田 亮

佳作 彦根城彦根の大事な宝物

若葉小学校6年 西村 翼沙

佳作 パンかじりダツシュしたら間に合った

佐和山小学校6年 大澤 柊斗

佳作 やめようよはもののようなその言葉

佐和山小学校6年 大林 あみ

佳作 運動会絆を深め優勝だ

佐和山小学校6年 杉村 璃琉

入選 金閣寺きんきらきんですごかった

佐和山小学校6年 竹久 瞬

入選 ただいまと帰るわが家にネコが待つ

佐和山小学校5年 河上 聖佳

入選 大なわで息を合わせてがんばった

稲枝東小学校5年 竹田 美穂

入選 イチヨウの葉青から黄色衣がえ

稲枝東小学校5年 大村 仁衣菜

入選 秋の風花がゆらゆら歌ってる

城東小学校6年 立澤 茉弥

入選 わすれないはじめてできた友だちを

城東小学校5年 藤居 柊太

入選 けんかなし笑顔いっぱいいいクラス

城西小学校5年 悦 悠斗

入選 石膏像魂こもって喋りそう

城東小学校5年 佃 颯真

入選 びわこにはコイフナモロコいっばいだ

城西小学校5年 野上 帆風

入選 朝ねむいスズメの声で目覚める

鳥居本小学校6年 東出 修弥

入選 ありがとうそう言う友の笑顔好き

城陽小学校6年 疋田 愛里

入選 人間は年々進化する生き物だ

城西小学校5年 矢野 紗雪

入選 仲間とのきずなが大事ウオーラリー

城北小学校6年 諸田 遥人

入選 秋の夜月の下に彦根城

若葉小学校6年 横山 礼貴

入選 彦根城世界遺産をめざすんだ

若葉小学校 6年 奥田 紗由

入選 弟とけんかもするが大好きだ

鳥居本小学校 6年 立岩 結花

入選 スポーツだたくさん動いて汗かこう

城陽小学校 6年 武内 宏斗

入選 楽しみは家でゲームをするときだ

城陽小学校 6年 利光 幸一郎

入選 あったかい家族みんなでこたつだね

鳥居本小学校 5年 渡邊 恵奈

入選 彦根城ひこにゃんがいて町おこし

若葉小学校 6年 岡田 華美



## 〈中学生〉

特選 落書きは日々の思い出消さないで

南中学校 3年 福原 菜央

(評)

「落書き」これは、心の中への書き込みでしょう。三年間の中学生生活「楽しいことや、辛いこと」数えあげれば切りがありません。思い出が多い程、大人になってから役に立つものです。大切にしまっておきましょう。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

特選 テスト前襲う睡魔と決闘中

南中学校 2年 石留 亜美

(評)

毎日の受験勉強で、睡眠時間があまり取れていません。今夜も家族が寝静まったあと、懸命にペンを走らせています。予告なく睡魔が襲って来ます。自身との戦いを、巧みに表現した頼もしい一句になりました。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

特選 ありのままそれがいちばんむずかしい

南中学校 2年 戸田 樹

(評)

思春期になると、とかく背伸びして人と付き合うことが多くなります。難しい不安定な年頃、と言っても過言ではありません。一步一步真っすぐに、中学生生活を送ってください。作者は既に理解しているようです。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

準特選 勉強は大人になっても終わらない

南中学校 2年 岸田 涼

(評)

人は一生勉強です。勉強にスポーツ、共に毎日頑張っている姿が想像できます。「勉強は大人になっても」この言葉が非常に素晴らしい。社会人になっても惜しめない努力の持ち主だと思えます。将来が楽しみです。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

準特選 そのマスクあなた本当に風邪ですか

南中学校 2年 宮田 雄大

(評)

きのうまで、何の変化もなかった友人。気が付くと顔には大きなマスク、尋ねても返答がない。どうしたのだろう・・・？。思わず笑ってしまい。そんな「問いかけるような句」ユーモア溢れる楽しい作品です。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

準特選 先生と目をあわせるとあてられる

南中学校 2年 島田 理帆

(評)

中学生になると手を上げる友人もあまりなく、消極的になりがちです。ふと、顔を上げると先生と目が合った。早速名前を呼ばれる。思い付くままに答えた、合っていた。授業中の一コマを旨くまとめられています。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)



準特選 努力しよういつか大きな花が咲く

南中学校 2年 櫻井 桃花

(評)

日々頑張っている至誠(しせい)が伺えます。スポーツでも、勉強でも何でも良いのです。歩幅は小さくても一歩一歩着実に進んでください。いつか希望の花が咲くことでしょう。世界一大きな花を咲かせてください。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

準特選 中学校エンジンジョイするぞ最後まで

南中学校 3年 水野 和佳奈

(評)

「ファイト」「ファイト」その調子です。残り少ない中学生生活。今のうちに、思うまま存分に楽しんでください。受験勉強も必要でしょう。そして志望校を目差して頑張りましょう。力強さが溢れる素晴らしい句です。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)



準特選 流すのはどっちの涙受験生

南中学校 3年 日夏 一輝

(評)

「受験生」とは、自分のことを言っているのです。高校入試のために一生懸命頑張っている。でも、結果を出すまでは答は出ない。これは自分との戦いを何げなく詠んでいます。思いが伝わり上手に表現しています。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

準特選 ピアノはねみんなの心そめるもの

南中学校 2年 加藤 瑛梨

(評)

学校の音楽室や、春の路地を歩いていると、どこからともなく聞こえてくる音色。情景が素直に目の前に浮かんで来ます。ピアノの音色が沈んだ心を温めてくれる作者を想像させる、優しい句ができました。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

佳作 三者こん一番気になる親の顔

南中学校 3年 岩崎 友哉

佳作 色えんぴつ僕は赤色太陽だ

稲枝中学校 1年 谷崎 レオナルド

佳作 勉強より自由があったらいいのにな

南中学校 2年 角田 梨穂

佳作 買い物にいつも連れられ荷物持ち

南中学校 2年 川島 光生

佳作 紅葉が落ちてしまうとテストかな

南中学校 3年 川畑 圭右

佳作 いじめゼロみんなが君を呼んでいる

南中学校 3年 佐々木 悠華

佳作 学級は団結力が生まれるね

稲枝中学校 1年 廣寄 由姫

佳作 きらきらと流れて行くよお星様

鳥居本中学校 1年 安澤 嶺

佳作 皆に感謝気持ちを込めてありがとう

南中学校 1年 西澤 瞭

佳作 朝練習気合いを入れて半そでだ

南中学校 1年 西村 竜之介

佳作 寒い朝布団と勝負どっち勝つ

彦根中学校 2年 高橋 亮成

佳作 先生におこられるのは日課です

南中学校 1年 疋田 菜乃

佳作 部活とはみんなの素顔見える時

南中学校 2年 宗安 郁真

佳作 受験生休みはいつだ半年後

南中学校 3年 辰巳 菜穂

佳作 切りかえろそれがはじめのだいいつぱ

南中学校 2年 堀田 頼紀

入選 テスト前満点の自信あったのに

南中学校 3年 種毛 利樹

入選 暑い中協力し合った体育祭

稲枝中学校 1年 小宮山 由喜

入選 この川柳考えるのに苦労した

南中学校 3年 小椋 誠斗

入選 毎日が勉強さんまい疲れるな

南中学校 3年 西川 結菜

入選 受験生家族の期待プレッシャー

南中学校 3年 疋田 朱梨

入選 勝ち取るぞ合格という二文字を

南中学校 3年 山田 まき

入選 弟よ最近兄をなめてるな

南中学校 3年 久保川 樹

入選 しゅくだいを忘れてろうかにたっていた

南中学校 2年 小田柿 昂洋

入選 寒い朝目覚まし時計聞こえない

南中学校 1年 山中 千畝

入選 テスト前勉強しなさいききあきる

南中学校 2年 小漆間 菜美

入選 ありがとう自分も相手もいい気持ち

稲枝中学校 1年 本田 彩亜紗

入選 午前中待ち遠しいのは昼ごはん

稲枝中学校 1年 河合 弘翔

入選 白い息冬を感じる季節だな

南中学校 1年 中村 郁穂

入選 受験生楽しいことはあとまわし

南中学校 3年 薄井 彩果



入選 合唱コンめざせ金賞がんばろう

彦根中学校2年 川島 有加

入選 あおぞらにあまいわたがししろいくも

南中学校2年 中寫 隆人

入選 たすけてよ川柳何もうかばない

南中学校2年 馬場 豊磯

入選 サンタさん煙突ないと入れない

南中学校1年 北川 温子

入選 笑いありほっこり絆うまれてく

南中学校1年 長尾 祥吾

入選 流れ星必死に唱える願い事

鳥居本中学校3年 山崎 春香

入選 きゆうけいの10ぷんかんはみじかいな

南中学校2年 川島 伝竜

入選 根気よく最後に努力逆転へ

南中学校2年 寺村 拓夢

入選 漢検を受けても解答ほぼ書けん

南中学校2年 池田 裕史

入選 冬だけどクラスはやっぱりあたたかい

南中学校1年 牧野 真央

入選 休日も塾が終れば暇なっしー

南中学校3年 宮川 明瑠夢

入選 声でかいどなる先生声でかい

南中学校2年 疋田 龍心

入選 上げたらねダメよダメダメ消費税

南中学校2年 野上 凌介

入選 朝ごはんしっかり食べて元気とる

稲枝中学校1年 西田 慧至

【総評】

二十二年度から始まった子ども文芸作品。川柳部門では、どの学年も応募数が年々増えて、全体では約千二百句以上増加しました。ご応募嬉しく思っております。三千二百余もの中から、一句一句丁寧に審査させていただきますました。頼もしい句、ユーモア溢れる句などがあり今後に期待しております。反面、一般論のような作品もあり、また、全て平仮名で詠まれている句が非常に多く残念です。特に中学生は、習った漢字を遣うことをお勧めします。平仮名で詠まれると、句によっては力強さを欠く結末を招くこととなります。もう一度、自分自身を見つめ直してください。出来事をそのまま書くのではなく、思いを深く届けてください。日常生活の中で句の材料は整っています。来年度は、今年度よりも一層個性豊かな若さ溢れる表現力を、子どもたちに期待して止みません。

（彦根文芸協会 須田 さゆり）

